

事務事業名		保育所機能緊急強化事業		所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》		所属G	子育て支援グルー プ	課長名	田中孝治
	施策名	(22)子育て支援の充実		担当者名	柁 博章	電話番号	0854-40-1044 (内線) 3626
	目的 対 象	A)子ども(乳幼児・児童生徒) B)子どもの保護者	意 図	A)心身ともに健やかに育つ。B)安心して子育 てができる。		予算科目	011503 101523
	基本事業名	(064)子育て環境の充実		大事業 中事業 中事業	公立保育所管理事業 保育所機能緊急強化事業		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	【待機児童対策】 ①三刀屋保育所 保育室の増設及び必要備品の購入 ②斐伊保育所 旧児童クラブの一部を保育室として改修 【幼保一体化の推進及び待機児童対策】 ③認定こども園木次こども園開設のため木 次保育所の調理室機能を強化

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) ・施設整備のために必要な工事等入札事務 ・事業執行のための現場調整、業者協議等	25年度計画(25年度に計画する主な活動) ・H24年度で終了				
	② 活動指標	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)
	ア 実施工事数(環境整備件数)	箇所			3	
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)
	保育所に入所を希望する児童及びその保 護者	ア 受入可能となった人数	人			63	
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)	
①幼保一体化推進により全ての子どもに 等しく質の高い教育・保育環境を提供する こと。 ②保育園への入所を可能とし待機児童の 解消を図ることで、仕事と育児を両立し、 安心して働くことができるような環境をつ くる。	ア 受入拡大率	%			29.0		
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
三刀屋保育所 ・保育室増設:39,606千円 ・保育備品:2,696千円 斐伊保育所 ・保育室改修:2,723千円 ・保育備品:1,948千円 木次保育所 ・調理室改修:4,403千円 ・空調整備:4,676千円 ・保育備品等:3,278千円 その他179千円	財 源 内 訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円			43,000	
	その他	千円				
	一般財源	千円			16,509	
	事業費計(A)	千円			59,509	
	人 件 費	人			4	
	正規職員従事人数	人			4	
	延べ業務時間	時間			240	
	人件費計(B)	千円			940	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			60,449	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対 象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始 時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)
市内保育所への入所を希望する児童及び保 護者の数は年々増加し待機児童の問題が顕 著化している。一方、国の流れとして認定こ ども園(幼保連携型)への移行促進が掲げら れており、幼稚園及び保育所を一体的に捉 えた保育・教育の充実が求められている。	特になし	入所を希望する児童とその保護者がいつでも保育 所施設を利用でき、安心して子どもを預け、働く事 のできる子育て環境の整備が必要である。

事務事業名	保育所機能緊急強化事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 →
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 →	
③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 一時的な対応であり、引き続き待機児童解消に努める必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 単年度事業であるが、今後も施設改修は必要である。	
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	幼稚園の預かり保育事業	
<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 保育所ニーズに応えるために、幼稚園での預かり保育の対象を拡充することで、待機児童が解消される。	
<input type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 入札減以外は削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 施設整備のための、現場調整・業者協議や入札・予算執行事務等であり、削減の余地はない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 小学校のように校区もなく、どこの保育所でも入所できるなど、市内全ての児童が対象である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			●																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				
子ども子育て新法等の国の流れを見据え、認定こども園や幼稚園のあり方など、抜本的な見直しが必要となる。																								